

# ハンディ水質計“アクアブ”シリーズ

Residual Chlorine Measuring Meter “AQUAB”

AQUAB<sup>®</sup>  
アクアブ<sup>®</sup>



水道水やプール水など  
低濃度の残留塩素の測定に  
➡AQ-201 / 201P型



次亜塩素酸Na溶液や酸性電解水など  
高濃度の消毒用塩素の濃度管理に  
➡AQ-202 / 202P型



# アクアブシリーズ

DPD法もしくはヨウ素法を採用した残留塩素の測定器です。  
試料セルはガラス製とPET製の2種類です。

試料セル：ガラス製  
(標準タイプ)



試料セル：PET製  
(ガラス持ち込み  
できない現場向け)



DPD法  
~2.00  
mg/L

水道水(ビル管理や食品工場等)、プール水、浴槽水などの残留塩素濃度の管理に!

AQ-201型



AQ-201P型

NEW



ヨウ素法  
~300  
mg/L

消毒用塩素(次亜塩素酸ナトリウム溶液や電解水等)などの高濃度の残留塩素(有効塩素)の管理に!

AQ-202型



AQ-202P型



型式の記載は操作パネルまたは背面にあります。

## ■主な機能

- メモリー機能
  - ・最大99ポイントまで測定値が自動で保存
  - ・メモリー確認モードにより測定値をその場で確認可能
- 自動および手動による電源OFF
  - ・自動電源OFFにより電源の切り忘れを防げるほか、手動による電源OFFも可能

## ■MODE選択画面

MODEキーを押すことで以下の項目を簡単に設定できます。

- ・測定モード
- ・メモリー確認モード
- ・電源OFF(手動)



## 操作は簡単! 5ステップ!!

### ■操作方法(例: AQ-202P型)



①検水を測定室へ



②ゼロ点測定



③試薬を投入



④再度測定室へ



⑤濃度測定

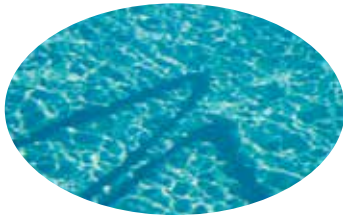
# 残留塩素管理の例

## AQ-201/201P型



■飲料用水導水  
遊離残留塩素・・・0.1mg/L以上  
(結合残留塩素・・・0.4mg/L以上)  
・目標値(上限値)・・・1mg/L以下  
(水道法施行規則、水質管理目標設定項目と目標値など)

■浴槽水(公衆浴場)  
通常0.2ないし0.4mg/L程度を保ち、かつ、最大1.0mg/Lを  
超えないよう努めること  
(公衆浴場における衛生等管理要領)



■遊泳用プールおよび水泳用プール  
0.4mg/L以上、また、1.0mg/L以下が望ましい  
(遊泳用プールの衛生基準)

## AQ-202/202P型



■野菜・果物の殺菌や調理器具、容器等の消毒  
次亜塩素酸ナトリウム溶液で、200mg/Lで5分間  
又は100mg/Lで10分間殺菌  
(大量調理施設管理衛生マニュアル、調理場における  
洗浄・消毒マニュアル)

■農業分野での電解次亜塩素酸水の使用  
pH6.5以下、有効塩素10～60mg/kg  
(特定農薬(特定防除資材)として指定された  
資材(天敵を除く。)の留意事項について)



■製造に使用する汚卵の殺菌  
次亜塩素酸ナトリウム溶液・・・150ppm以上  
(食鳥卵(鶏の液卵に限る。)の製造基準)



## 電解次亜塩素酸水

- 電解水(次亜塩素酸水)は厚生労働省や農林水産省等によって、食品添加物や大量調理施設における殺菌水、特定農薬などとして規格が定められ、その使用が認められています。
- 食品添加物や殺菌水として使用する場合は、生成装置を事業者の責任で管理することが求められます。
- 機能水研究振興財団が発行する「次亜塩素酸水生成装置に関する指針(第2版追補)」にて、装置の保守管理に用いるモニター用品としてアクアブが紹介されています。
- 次亜塩素酸生成装置については日本工業規格(JIS) B8701:2017において規定されています。

## 電解水の種類

	pH	有効塩素(mg/kg)
弱酸性電解水	2.7～5.0	10～60
微酸性電解水	5.0～6.5	10～30(被電解液:塩酸水) 50～80(被電解液:塩酸/NaCl混合水)
電解次亜水	7.5以上	30～200

※参考 一般財団法人  
機能水研究振興財団

## 仕様

型式	AQ-201	AQ-201P	AQ-202	AQ-202P
品目コード	080560-201	080560-2010	0080560-202	080560-2020
測定項目	残留塩素		総残留塩素	
試薬	残留塩素DPD法用		残留塩素高濃度	
測定範囲	0.00~2.00mg/L		0~300mg/L	
分解能	0.01mg/L		1mg/L	
測定原理	DPD試薬による吸光光度法		ヨウ素試薬による吸光光度法	
測定方式	透過吸収測定：511±2nm			
光源/受光部	LED/フォトダイオード			
検水（試料）条件	10~40℃、pH3~10		5~30℃、pH3~11	
試料セル	φ24キャップ付バイアル			
	材質 本体：ガラス キャップ：PP	材質 本体：PET キャップ：PP	材質 本体：ガラス キャップ：PP	材質 本体：PET キャップ：PP
測定時間	ゼロ点認識・濃度測定ともに約2秒			
データ記憶数	99点まで			
自動OFF機能	キー操作終了120秒後自動電源OFF（手動電源OFFも可能）			
電源	アルカリ乾電池 単4×4本			
付属品	キャリングケース、測定セル2本、乾電池 単4×4本、クイックマニュアル、試薬25包			
寸法・質量	70 (W) ×142 (D) ×63 (H) mm・約250g			
価格¥	49,800	49,800	54,800	54,800

※測定範囲とは本装置がディスプレイに表示する範囲のことで、

※AQ-201/202型はガラス試料セルで校正しています。PET試料セルを使用した場合、正しく測定できません。

※AQ-201P/202P型はPET試料セルで校正しています。ガラス試料セルを使用した場合、正しく測定できません。

## 消耗品/スペアパーツ/オプション

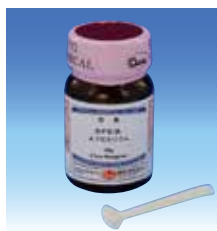
品目コード	品名	価格¥
080540-501	粉体試薬 残留塩素DPD法（100回分）	1,800
080540-503	粉体試薬 残留塩素DPD法 徳用（500回分）	6,800
080560-1021A	粉体試薬 残留塩素高濃度（100回分）	3,000
080520-0058	ヨウ化カリウム 薬さじ付（20g）	3,500
080560-2001	試料セル ガラス製 1本 AQ-201/202用	800
080560-200A	試料セル PET製 2本 AQ-201P/202P用	1,000



粉体試薬残留塩素DPD法（100回分）



粉体試薬残留塩素高濃度（100回分）



ヨウ化カリウム 薬さじ付



試料セル ガラス製



試料セル PET製

### ●AQ-201/201P型で結合残留塩素を求める場合

AQ-201/201P型で遊離残留塩素を測定した後に、別売のヨウ化カリウムを付属のさじで1杯（0.1～0.5g）加え、キャップをして混和し約2分間放置します。呈した色をAQ-201/201P型で測定し、総残留塩素濃度を求めます。

この値からはじめに測定した遊離残留塩素濃度を引いた値が結合残留塩素濃度となります。

結合残留塩素濃度 (mg/L) = 総残留塩素濃度 (mg/L) - 遊離残留塩素濃度 (mg/L)

※一般的には遊離残留塩素を測定する方が多いようです。



遊離残留塩素を測定後にヨウ化カリウム（別売）を加えます！

●このカタログに記載の価格および仕様、外観は2018年8月現在のものです。●製品改良のため、仕様および外観が予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。●カタログの色と実際の製品の色とは、多少異なる場合があります。●本カタログに記載の価格には消費税は含まれておりません。●ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みください。

SIBATA 製品のご用命は

SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.  
**柴田科学株式会社**

本社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62

東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-433-1207

大阪営業所 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎022-207-3750

名古屋営業所 ☎052-263-9310

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）

☎0120-228-766 FAX: 048-933-1590

